

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時32分40秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00791	消防総務事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10760	01	09	01 01 02 01 01	消防総務事業（常備消防費）
所属長	笹野 光則		担当者（内線）		安庭 亨蔵（7120）
根拠法令等	消防組織法				
事業開始年度	昭和23年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	消防施設及び職員、その他		
目標	適切な消防施設及び職員の管理		
結果	消防業務に必要で適切な消防体制を維持することができる。		
事業概要	各種会議への派遣旅費や備品、消防被服等の購入、消防業務における施設及び職員を適切に管理し、消防体制に必要な施策を検討する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	風産業
		委託先②	ジョンソンコントロールズ
		委託先③	ダイキン工業他
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	受付業務、庁舎清掃業務、施設管理業務他
		交付先①	ヘリコプター分担金
交付先②		大阪市町村消防財団（賞じゅつ金）分担金	
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	184,059	163,896	174,760	162,922	165,795
人件費職員数(人)	5.00	18.00	9.00	20.00	18.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	40,850	142,200	72,468	161,040	143,010
総事業費(A+B)	224,909	306,096	247,228	323,962	308,805
特定財源(C)	10,884	9,947	7,479	33,295	10,410
国	0	0	0	0	0
府	4,627	4,626	4,749	4,922	4,271
その他	6,257	5,321	2,730	28,373	6,139
市負担(D)	214,025	296,149	239,749	290,667	298,395
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	214,025	296,149	239,749	290,667	298,395
財源計(C+D)	224,909	306,096	247,228	323,962	308,805

所属	総務予防室
事務事業番号	00791

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	各種会議への派遣旅費や備品・消防被服等の購入等、消防業務における施設および職員の管理、消防体制に必要な施策の検討。	目標	消防施設及び職員の適切な管理。
成果内容	消防業務に必要で適切な消防体制を維持している。	達成状況	適切で確実な消防業務遂行に十分な効果が得られている。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	事業費は消防全般の経常経費を主としており、消防施設・人員を適切に管理する観点から妥当である。今後も消防業務継続に必要な消防体制を構築するためにも本事業は必要不可欠である。

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防総務事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00791				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		－ ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	00791
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は安心安全なまちづくりにおいて必要不可欠な事業であるが、内部管理の事業のため指標では表しにくいところがある。しかし、常にコスト削減を意識して事業をすすめている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時33分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00792	消防職員教育・訓練充実事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10761	01	09	01	01	02	01	02	消防職員教育・訓練充実事業（常備消防費）
所属長	笹野 光則				担当者（内線）安庭 亨蔵（7120）				
根拠法令等	消防組織法、道路交通法、労働安全衛生法等資格関連法令、消防力の整備指針第26条（消防職員の職務能力）								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成26年度					
改正内容	消防力の整備指針の一部改正が行われ、（消防職員の職務能力）に関する事項が第28条から第26条へ改正								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	消防職員		
目標	効果的な人材育成と職員の資質向上による災害対応能力の強化 職員の公的資格（免許等）の取得		
結果	消防職員の資質等の向上による災害対応能力の強化		
事業概要	消防に関連した専門的な知識や技術を修得するため、運転免許、各種資格ならびに府立消防学校や大阪市消防局高度専門教育訓練センター等の専科教育・幹部教育に積極的に消防職・団員（職員等）を派遣し職員等各個人の資質の向上を図り消防体制を強化していく。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	■ 補助金・負担金	交付先①	大阪府立消防学校入校負担金
交付先②		東京研修所入校負担金	
交付先③		大阪市高度専門教育訓練センター入校負担金	
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	8,949	8,912	8,635	10,051	3,455
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	25,289	24,712	24,739	26,155	19,345
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	25,289	24,712	24,739	26,155	19,345
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	25,289	24,712	24,739	26,155	19,345
財源計(C+D)	25,289	24,712	24,739	26,155	19,345

所属	総務予防室
事務事業番号	00792

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	職員を対象に計画的に教養及び資格取得等に必要の各種教育、講習等を受講させ、効率的な人材育成に努める。	目標	職員の資質向上。
成果内容	市民ニーズに対応した消防体制の確立。	達成状況	消防業務遂行に十分な効果が得られている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	消防職員に必要な資格の取得及び人材育成を主眼とした本事業は、職務に有効な公的資格等を取得するうえで、費用対効果という視点から妥当であるものとする。資格等を取得することにより、個人のスキルアップ及び意識改革、消防全体の能力向上につながっている。また、職員が退職することによる資格保有者の減員を防ぐためにも継続的に本事業を推進していく必要がある。		

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防職員教育・訓練事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00792				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
評価点合計 (100点満点)	87	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	00792
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は指標として表せないが、必要な資格を継続的に取得し、資格者数を確保していくことにより、市民ニーズに対応した消防体制の確立・維持ができるため、今後も継続して推進していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時33分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00793	消防庁舎等改修事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10762	01	09	01	01	02	01	03	消防庁舎等改修事業（常備消防費）
所属長	笹野 光則			担当者（内線）小西 将也（内線7144）					
根拠法令等	吹田市消防本部衛生管理規程（昭和62年 消防本部訓令第2号）								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正			平成27年度				
改正内容	平成28年4月1日施行の組織改革に伴い、吹田市消防本部衛生管理規程における所要の規定整備								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	消防庁舎		
目標	庁舎の改修、設備の補修及び修繕の実施		
結果	消防庁舎の適切な維持管理及び職員の勤務環境改善		
事業概要	庁舎建設と同時に設置された機械・電気設備の経年劣化に対する補修及び更新を行う。平成29年度は大規模な改修として、南消防署の空調設備更新及び東消防署の外壁補修工事を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	11,100	20,332	94,650	72,518	54,779
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	27,440	36,132	110,754	88,622	70,669
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	27,440	36,132	110,754	88,622	70,669
地方債	0	0	0	0	48,100
その他	0	0	0	0	0
一般財源	27,440	36,132	110,754	88,622	22,569
財源計(C+D)	27,440	36,132	110,754	88,622	70,669

所属	総務予防室
事務事業番号	00793

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	消防庁舎の維持補修管理。	目標	適切な消防庁舎の維持補修管理を実施する。
成果内容	適切な消防庁舎の管理に寄与している。	達成状況	適切な消防庁舎の維持管理に一定の効果が得られている。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	建物の経年劣化による改修費用や大規模災害時に備えた庁舎の耐久性の確保など、これからも維持管理に必要なコストが減少することはない。大規模な改修等にあつては、公共施設最適化推進委員会を経て進めており、今年度においては南消防署の空調設備更新及び東消防署の外壁補修工事を実施し、平成30年度は南消防署の非常用発電機更新工事を実施する。本市における消防防災拠点施設のうち災害対応において、最も重要である消防庁舎の適正な管理及び整備は今後とも必要不可欠であり、継続して実施していく。また、平成30年度から南消防署庁舎改修事業(事業番号01327)を統合し、事業を推進する。

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防庁舎等改修事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00793				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	00793
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は消防庁舎の維持管理のために、経年劣化した必要最低限の補修を実施しており、妥当であり、今後も持続して実施していく必要がある。長期の視点となるが、改修内容によっては費用の増大が見込まれる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時34分25秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00794	防火意識普及啓発事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10764	01	09	01	01	03	01	01	防火意識普及啓発事業（常備消防費）
所属長	笹野 光則				担当者（内線）内橋 功（内線7140）				
根拠法令等	総務省消防庁通知 全国火災予防運動実施要綱								
事業開始年度	昭和50年度	直近の改正	平成19年度						
改正内容	起震車廃車								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民		
目標	防火思想の普及と火災予防の推進を図る。		
結果	市民一人ひとりの防火意識の向上により、災害に強い安全なまちづくりを目指す。		
事業概要	消防フェスティバルの開催や消防音楽隊の演奏活動、また春、秋の火災予防運動を通して防火PRを行い、防火意識の普及と火災予防の推進を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	シルバー人材センター
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	ポスター等封入作業
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,117	2,001	2,046	1,903	2,059
人件費職員数(人)	15.00	15.00	15.00	15.00	13.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	122,550	118,500	120,780	120,780	103,285
総事業費(A+B)	124,667	120,501	122,826	122,683	105,344
特定財源(C)	0	936	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	936	0	0	0
市負担(D)	124,667	119,565	122,826	122,683	105,344
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	124,667	119,565	122,826	122,683	105,344
財源計(C+D)	124,667	120,501	122,826	122,683	105,344

所属	総務予防室
事務事業番号	00794

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消防フェスティバル、火災予防運動、消防音楽隊演奏の参加人員	人	目標値	32,700.00	27,400.00	26,500.00
			実績値	38,000.00	33,700.00	
			達成度(%)	116.20	123.00	
目標値の積算方法	消防フェスティバル、火災予防運動、消防音楽隊演奏の参加人員の合計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.17	3.64	
			一般財源(千円)	3.15	3.64	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消防フェスティバル開催数、火災予防運動、消防音楽隊演奏回数	回	目標値	18.00	18.00	18.00
			実績値	27.00	20.00	
			達成度(%)	150.00	111.10	
目標値の積算方法	消防フェスティバル開催数(4署×1回)、火災予防運動(春・秋年2回)、消防音楽隊演奏回数(年間12回)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,463.00	6,134.15	
			一般財源(千円)	4,428.33	6,134.15	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	事業費は防火思想の普及と、火災予防を継続的に推進していくために維持していく必要がある。また、火災予防広報活動のための音楽隊を今後も継続して維持していく必要がある。フェスティバルや音楽隊の演奏活動を通じて多数の市民と融和強調に努め、防火思想の普及と火災予防の推進を図るためには、継続が必要な事業であり、得られる効果は大きく、市民一人ひとりの防火意識の向上と災害に強いまちづくりを目指して積極的に実施していくものである。

## 事務事業分析シート

所属名	消防本部 総務予防室	事業名	防火意識普及啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00794				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	消防本部 総務予防室	事務事業番号	00794
-----	------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>春・秋の火災が発生しやすい時季に火災予防思想の一層の普及を図り、火災予防運動が全国的に展開されるようになり、本市においても積極的な活動を行うこととなった。また、地域の行事(催物)に参加して消防フェスティバルを開催したり、消防音楽隊の演奏活動を通して市民に対する防火意識の普及と火災予防の推進を図ることは、安心・安全のまちづくりに多大な事業効果を与えるものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時35分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00795	予防査察・自主防火管理充実事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10765	01	09	01	01	03	01	02	予防査察・自主防火管理充実事業（常備消防費）
所属長	笹野 光則				担当者（内線）内橋 功（内線7140）				
根拠法令等	消防法・消防組織法（消防力の整備指針）								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正			平成23年度				
改正内容	法令改正に伴う防火管理者資格取得講習会の時間割見直し								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	職員・市民		
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防業務を担当する消防職員の職務能力を高める。</li> <li>・防火管理に携わる市民の自主防火管理能力を高める。</li> </ul>		
結果	より高度で専門的な知識及び能力を得ることで、高度化・多様化する予防業務や自主防火管理業務を円滑に遂行することができる。		
事業概要	<p>予防業務を担当する職員は、予防技術検定を受検することで予防技術資格者として予防業務の高度化・専門化に的確に対応する。また、防火管理に携わる市民には、防火管理者の資格取得を促し、自主防火の体制を推進し、安心・安全のまちづくりを目指す。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	182	154	172	145	138
人件費職員数(人)	9.00	6.00	9.00	9.00	9.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	73,530	47,400	72,468	72,468	71,505
総事業費(A+B)	73,712	47,554	72,640	72,613	71,643
特定財源(C)	0	1,425	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	1,425	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	73,712	46,129	72,640	72,613	71,643
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源*	73,712	46,129	72,640	72,613	71,643
財源計(C+D)	73,712	47,554	72,640	72,613	71,643

所属	総務予防室
事務事業番号	00795

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	予防技術検定受検者数	人	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	3.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	予防技術検定受検者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15,851.33	24,204.33	
			一般財源(千円)	15,376.33	24,204.33	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防火管理者資格取得講習会実施回数	回	目標値	5.00	5.00	0.00
			実績値	5.00	5.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	防火管理者資格取得講習会実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9,510.80	14,522.60	
			一般財源(千円)	9,225.80	14,522.60	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	予防技術検定合格者数	人	目標値	3.00	3.00	3.00
			実績値	3.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	66.70	
目標値の積算方法	予防技術検定合格者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15,851.33	36,306.50	
			一般財源(千円)	15,376.33	36,306.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	防火管理者資格取得講習会受講者数	人	目標値	300.00	300.00	0.00
			実績値	291.00	287.00	
			達成度(%)	97.00	95.70	
目標値の積算方法	防火管理者資格取得講習会受講者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	163.42	253.01	
			一般財源(千円)	158.52	253.01	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	年々変化していく予防行政に職員が対応していくため、毎年予防技術検定を受検していく必要があり、事業費は維持していく必要がある。予防技術資格者として高度で専門的な知識及び能力を得ること、また、防火管理に携わる市民に対して防火管理者の資格を取得してもらうことは消防法、消防組織法に定められており、受講を促すことで成果も上がるため、当然今後も継続していくべき事業である。消防職員が高度で専門的な知識及び能力を得ることで、安心・安全のまちづくりの一翼を担う事業として得られる効果は大きい。

## 事務事業分析シート

所属名	消防本部 総務予防室	事業名	予防査察・自主防火管理充実事業	事業区分	その他
事務事業番号	00795				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	消防本部 総務予防室	事務事業番号	00795
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>消防機関で実施すべき予防業務は、高度化・多様化しており、特に消防用設備等や危険物保安に係る性能規定の導入、防火対象物に係る違反処理、防火対象物定期点検報告制度の推進などを踏まえると、これらを円滑に処理・遂行するためには、より高度で専門的な知識及び能力が消防職員に求められる。このような状況を踏まえ、予防業務を担当する消防職員の職務能力をさらに高め、予防業務の高度化・専門化に的確に対応するための方策が国によって検討され、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有するものとして消防庁が定める資格を有する予防技術資格者を1人以上配置することとなった。これにより、予防技術検定に合格したものが予防技術資格者となるため、順次有資格者の充実拡大を図る必要がある。また、消防法第8条には防火管理制度が定められているとおり、市民(防火管理者)の自主防火管理体制を引き続き強力に推進する。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時37分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00796	自主防火組織育成強化事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10766	01	09	01 01 03 01 03	自主防火組織育成強化事業（常備消防費）
所属長	笹野 光則		担当者（内線）内橋 功（内線7140）		
根拠法令等	少年消防クラブ及び婦人防火クラブ育成強化について（消防庁通達）				
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正	平成27年度		
改正内容	家庭防火クラブ連絡協議会事務局組織名変更				
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	自治会、幼稚園（家庭防火クラブ30団体、幼年消防クラブ34園）		
目標	家庭防火クラブ（自治会）単位での隣保協力体制の充実と幼年期から火に対する正しい知識を身につけることで防火意識の啓発を図る。		
結果	一般居住建物からの火災防止や火遊びによる火災防止等、防火防災意識の普及を図り、災害に強いまちづくりを推進する。		
事業概要	火災予防の知識と消火器等の取扱い、また研修会を通して隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることにより安心・安全のまちづくりを目指すこと及び幼年期から火に対する正しい知識を身につけて、火遊びによる事故の防止と防火意識の教育・普及の徹底を図ることによって火災のない明るいまちづくりを目指す。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,135	504	1,149	946	1,307
人件費職員数(人)	9.00	6.00	9.00	9.00	9.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	73,530	47,400	72,468	72,468	71,505
総事業費(A+B)	74,665	47,904	73,617	73,414	72,812
特定財源(C)	0	312	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	312	0	0	0
市負担(D)	74,665	47,592	73,617	73,414	72,812
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	74,665	47,592	73,617	73,414	72,812
財源計(C+D)	74,665	47,904	73,617	73,414	72,812

所属	総務予防室
事務事業番号	00796

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭防火クラブ、幼年消防クラブの年間活動回数	回	目標値	274.00	244.00	274.00
			実績値	211.00	186.00	
			達成度(%)	77.00	76.20	
目標値の積算方法	年間行事回数×家庭防火クラブ数と年間行事回数×幼年消防クラブ数の合計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	227.03	394.70	
			一般財源(千円)	225.55	394.70	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	家庭防火クラブ、幼年消防クラブの年間行事参加クラブ数	団体	目標値	64.00	64.00	64.00
			実績値	29.00	30.00	
			達成度(%)	45.30	46.90	
目標値の積算方法	家庭防火クラブ数と幼年消防クラブ数の合計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,651.86	2,447.13	
			一般財源(千円)	1,641.10	2,447.13	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	家庭防火クラブ及び幼年消防クラブを適切に維持管理するために必要費用であり、事業費は適切である。家庭防火クラブの設立・指導により地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることは、「火災のない明るいまちづくり」を築いていくために今後も継続すべき事業であり、総務省消防庁においても「住宅防火対策の充実強化」の方向性が打ち出されている。これらの動きを一般家庭に普及・啓発させていくことで得られる効果は大きい。平成29年度、家庭防火クラブが参加することができなかった1行事に関しては、次年度改めて申込、参加予定である。また、幼年消防クラブの設立により幼年期から火に対する正しい知識を身につけておくことは重要なことであり、防火意識の教育・啓発の徹底を図ることで得られる効果は大きい。

## 事務事業分析シート

所属名	消防本部 総務予防室	事業名	自主防火組織育成強化事業	事業区分	その他
事務事業番号	00796				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	消防本部 総務予防室	事務事業番号	00796
-----	------------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>家庭防火クラブは、昭和56年12月に山田地区の5つの自治会と御旅町自治会で火災予防の知識と消火器等の取扱い技術の習得や研修会を通じて一般家庭からの火災を防止し、併せて地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図ることを目的として結成し、以後、平成29年4月までに30の家庭防火クラブが結成され、火災予防運動週間中の広報活動、出初式、吹田まつりや防火講演会へ参加のほか、救命講習、防火実務体験などにも参加するなど、積極的な活動を行っている。また、幼年消防クラブについては、平成10年11月に私立幼稚園4園が火に対する正しい知識を幼児期から身につけて、火遊びによる火災の減少と防火思想の普及啓発を図る目的で結成された。現在、吹田市立幼稚園16園と私立幼稚園17園及び私立保育園1園の合計34園が幼年消防クラブを結成しており、防火映画会、消防署の見学、出初式への参加のほか、園内の運動会などのイベント時には法被を着用しての火災予防活動を行っている。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時37分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00810	消防団運営事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10781	01	09	01 02 01 01 01	消防団運営事業（非常備消防費）
所属長	笹野 光則		担当者（内線） 安庭 亨藏（7120）		
根拠法令等	消防組織法、吹田市消防団条例、消防団を中核とした地域防災力の充実に係る法律				
事業開始年度	昭和23年	直近の改正	平成25年度		
改正内容	消防団を中核とした地域防災力の充実に係る法律（平成25年法律第110号）が制定された。				
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市消防団（1本部9分団）		
目標	健全な消防団運営		
結果	地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化		
事業概要	<p>消防団の運営を支援する経費である。消防団は郷土愛護の精神から地元住民を中心に組織され、団員は非常勤の特別職地方公務員であるが、ボランティアとしての性格も多分にあり、消火活動のみならず、地震や風水害等、特に大規模災害時における避難誘導や災害防ぎょ活動等に非常に重要な役割を果たしており、平常時においても住民への防火指導、巡回広報、特別警戒ほか、地域に密着した活動を展開している。消防団のこのような活動は地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしており、この事業を消防団の健全な運営を図るためのものと位置付けている。</p>		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
■ 補助金・負担金	交付先①	吹田市消防団	
	交付先②	消防団員等公務災害補償等共済基金	
	交付先③	大阪府消防福祉つづき共済会	
■ その他	内容	消防本部と並列機関である消防団が運営している。	

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	59,778	50,758	65,555	50,006	57,279
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	67,948	58,658	73,607	58,058	65,224
特定財源(C)	10,432	5,578	10,431	2,925	10,431
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10,432	5,578	10,431	2,925	10,431
市負担(D)	57,516	53,080	63,176	55,133	54,793
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	57,516	53,080	63,176	55,133	54,793
財源計(C+D)	67,948	58,658	73,607	58,058	65,224

所属	総務予防室
事務事業番号	00810

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消防団への入団促進 (実績値として現団員数とする)	人	目標値	250.00	250.00	250.00
			実績値	178.00	178.00	
			達成度(%)	71.20	71.20	
目標値の積算方法	消防団条例定数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	329.54	326.17	
			一般財源(千円)	298.20	309.74	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	火災・訓練及び警戒出動の実績	回	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	658.00	661.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	火災・訓練及び警戒出動数の合計 (目標値は設定しないものとする)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	89.15	87.83	
			一般財源(千円)	80.67	83.41	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>消防団は地域防災の中核として重要な役割を果たしており、その公共性は極めて高く安心安全なまちづくりに必要不可欠な団体であり、市民による地域防災の担い手として位置付け、本事業を消防力の充実強化のため本市が「公助として取り組み推進すべき事業」としている。</p> <p>また、交付している消防団運営補助金は、毎年交付額全てが執行されており、消防団運営にかかる必要最低限の範囲であることから、補助金を継続することで、今後も消防団の活動が維持でき、地域防災力の向上に繋がるため費用対効果も最適であると認識している。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防団運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00810				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
-	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
-	-	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	総務予防室	事務事業番号	00810
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>消防団は郷土愛護の精神から地元住民を中心に組織され、団員は非常勤の特別職地方公務員であるが、ボランティアとしての性格も多分にあり、災害現場活動のほか、様々な活動を通じて地域に貢献している。しかしながら、近年は少子高齢化に伴う若年層の減少、就業構造の変化、地域奉仕精神の希薄化などにより、消防団員の減少に歯止めがかからず社会問題となっている。今後はこれまで以上に消防団員の処遇面等を改善するとともに、装備の充実等を図り、消防団への加入を促進して、消防団組織の充実強化を図る必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時38分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01324	教育訓練施設の整備事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業				
所属長	笹野 光則		担当者(内線) 安庭 亨藏(7120)	
根拠法令等	吹田市消防本部体育実施要領、吹田市消防本部トレーニング実施要領			
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部(上乗せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	消防庁舎・訓練用機材等		
目標	訓練施設・機器の整備・充実		
結果	消防職員の災害対応能力の向上		
事業概要	消防職員にとって訓練及び体力錬成は災害現場対応能力の維持・向上のためにも必要な要素である。しかし、庁舎の状況により種々の訓練等が実施できない署所が多く、計画的に整備していく必要があるため、既存庁舎の教育訓練施設の整備を行っていくもの。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	総務予防室
事務事業番号	01324

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訓練施設の整備状況	台	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	年度ごとのランニングマシン導入状況	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訓練施設の整備状況	台	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	ランニングマシンの導入状況	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>体力錬成時のランニング等は、本市の消防庁舎の立地条件や常に出動態勢を確保することの重要性から、屋外では困難なため、室内型ランニングマシンを年次計画的に導入していこうと考えているが、現段階では導入できていない。過酷な災害現場の長時間の活動には強靱な心肺機能や筋力が必要不可欠と考えており、室内型ランニングマシンを年次計画的に導入することで、災害現場で活躍できるための体力錬成を実施していきたい。</p> <p>訓練環境を整備するためのトレーニング機器等の導入は、市内体育館で不要となったものを譲り受けるなど、財政面やコスト面を考え工夫し実施しているが、室内型ランニングマシンの導入には至っていないのが現状である。</p> <p>また、今後の庁舎改修、建替え時には、トレーニング室の常設が必須だと考える。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	教育訓練施設の整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01324				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	01324
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>機器の台数を指標としているが、実際の目標はトレーニングを行った後の現場対応能力の維持・向上の効果となるため、指標として適切ではないところがある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時39分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01325	消防力の整備及び消防組織機構の検討事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業				
所属長	笹野 光則		担当者（内線）小西 将也（7114）	
根拠法令等	消防力の整備指針（平成12年消防庁告示第1号）			
事業開始年度	不明	直近の改正	平成26年度	
改正内容	消防車両・人員の算定基準の改正			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	消防組織機構		
目標	効率的な署所、車両、人員の配置		
結果	消防力の充実強化		
事業概要	署所体制、人員配置の見直しと検討を行い効率的な組織構築・運営を図る。消防力の整備指針を基に必要な消防力を算定し整備目標を定め、本市の実情に適した施設・設備・人員をはじめとした組織機構を随時見直し、可能なものは適宜実施していく。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	総務予防室
事務事業番号	01325

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容	消防力の整備指針に基づき効率的な車両・人員の配置を各署所に行う。	目標	消防力の充実と強化を目指す。
成果内容	実情に適した施設・設備・人員をはじめとした組織機構の見直しに寄与している。	達成状況	消防力の充実・強化には継続的に検討を行う必要がある。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	コストは発生していないため単位あたりのコストは算定できないが、この事業は消防力の充実強化を図っていくため、継続して行うことで総合的な効果を生むものである。

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	消防力の整備及び消防組織機構の検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01325				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(6) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	87	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務予防室	事務事業番号	01325
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>コストは発生していないため単位当たりのコストは算出できないが、この事業は継続して行うことで総合的な効果を生むものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時40分31秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01326	職員健康管理・感染予防対策事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業				
所属長	笹野 光則		担当者（内線）安庭 亨藏（7120）	
根拠法令等	消防本部衛生管理規程（昭和62年 消防本部訓令2号）、新型インフルエンザ対策行動計画・ガイドライン			
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	平成28年4月1日施行の組織改革に伴い、吹田市消防本部衛生管理規程における所要の規定整備			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	消防職員		
目標	感染予防対策及び職員健康管理の徹底。救急需要が増加する流行期における救急搬送体制並びに消火、救助体制の弱体化防止。		
結果	流行期における通常体制の維持による、市民生活の安心安全の確保。		
事業概要	消防職員の感染予防対策の一環として、インフルエンザの予防接種を実施し、流行期においても職員の健康管理を徹底し、消防体制の維持及び弱体化防止を図る必要がある。また、新型インフルエンザの発生時には著しい救急需要の増加が見込まれるため、消防職員の感染防止対策を施すことにより、需要増大時にも救急搬送体制をはじめ通常通りの消防・救助体制を継続させる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	総務予防室
事務事業番号	01326

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	消防職員へのインフルエンザ等感染防止対策に啓発を実施。	目標	消防職員の感染予防対策の充実を図る。
成果内容	1年を通じて通常の救急搬送、消火、救助体制の維持。	達成状況	市民生活の安心安全確保に一定の効果を得られている。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	妥当性、有効性の視点は感染予防対策の備品購入等、消防業務継続に必要な事業を重視し評価している。基本的に職員の健康管理を徹底し、救急需要が増加するインフルエンザ流行期における救急搬送体制、消火・救助体制を維持していく必要がある。また、救急隊員に対するインフルエンザ予防接種が公費で実施できていない点が課題である。

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	職員健康管理・感染予防対策事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01326				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	01326
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は年間を通じて通常どおりの救急・消火・救助業務を行えていることが事業の効果と考えるため、指標として表しにくい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時41分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01376	北消防署再整備事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業				
所属長	笹野 光則		担当者（内線）小西 将也（7144）	
根拠法令等	消防力の整備指針、平成18年12月13日請願第2号 南千里地域への高機能消防施設の整備について			
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	平成26年度	
改正内容	消防力の整備指針の一部改正が行われ、（消防本部及び署所の耐震化等）に関する事項が第25条から第23条へ改正			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	消防庁舎及び市民		
目標	北消防署を移転建替えし、市北部の消防力を強化する。		
結果	市域における消防力の充実強化および職員の勤務環境改善		
事業概要	築後50年以上が経過し、老朽化と耐震性に問題がある本施設を早急に再整備し消防力の強化を図る。また、市北部唯一の消防署として重要度の高い消防防災拠点であるため、再整備により市北部地域の災害対応機能の強化を図るものです。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,633,150	1,633,150	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	1,633,150	1,633,150	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,633,150	1,633,150	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,633,150	1,633,150	0	0	0
財源計(C+D)	1,633,150	1,633,150	0	0	0

所属	総務予防室
事務事業番号	01376

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	北消防署の建替えを実施する。	目標	北消防署を建替え、市北部の消防力を強化する。
成果内容	消防力の強化。	達成状況	北部消防庁舎等複合施設建設について、関係部局と協議を重ね、基本構想・基本計画等の概算費用を算出した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	北消防署は老朽化のほか、庁舎の耐震性が確保されておらず、早急な再整備が必要である。今年度は、コストが発生していないが、北部消防庁舎等複合施設建設を踏まえ、北消防署再整備事業計画を策定するとともに、既存消防施設との集約化の検討及び他機能施設との複合化について他部局と協議・検討をした。今後も、市北部の消防力を強化できるよう、継続して推進していく。また、平成30年度から南千里地域の消防力強化事業(事業番号01680)を統合するとともに、北部消防庁舎等複合施設建設準備事業と連動し事業を推進する。

## 事務事業分析シート

所属名	総務予防室	事業名	北消防署再整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01376				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	01376
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>北消防署は老朽化のほか、庁舎の耐震性が確保されておらず、市北部の消防力を強化するためにも、早急な再整備が必要である。現場到着時間の短縮等の消防力強化は市民サービス向上に直結するものであり、早急に事業を推進していく。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時41分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01681	救急隊増隊検討事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業				
所属長	笹野 光則		担当者（内線）小西 将也（内線7144）	
根拠法令等	消防法、消防組織法、消防力の整備指針			
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	消防力の整備指針救急隊整備基準見直し			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	救急隊		
目標	救急救命体制の強化		
結果	消防力の充実強化		
事業概要	<p>本市の救急件数は増加の一途であり、今後も超高齢社会に突入り年次的に救急件数の増加が見込まれる。消防力の整備指針から本市に必要な救急隊数は10隊とされており、平成30年4月からの9隊目の運用後も、救急件数や現場到着時間等の推移を勘案し、必要に応じて10隊目の救急隊整備を検討していく。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	総務予防室
事務事業番号	01681

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	実情に適した救急隊の配備を行えるよう検討する。	目標	救急救命体制の強化。
成果内容	実情に適した救急隊の配備に寄与している。	達成状況	検討結果を反映し、平成29年4月から8隊目、平成30年から9隊目の救急隊の運用開始した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	コストは発生していないため単位当たりのコストは算定できないが、救急隊不足は現場等到着時間の遅延や救命率の低下等市民サービスに直結するため、継続的な検討が必要である。また、今年度においては平成30年4月から運用する9隊目の車両及び資機材の整備、人員の確保を行った(予算は消防車両更新事業等で計上)。今後も、救急件数や現場到着時間等の推移を勘案し、必要に応じて10隊目の救急隊整備を検討していく。		

事務事業分析シート

2018/6/817:15

所属名	総務予防室	事業名	救急隊増隊検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01681				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	92	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	01681
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>超高齢社会に突入し救急件数の増加が予測され、救急救命体制の強化は不可欠である。市民サービスの低下にならないよう、今後も救急件数や現場到着時間等の推移を勘案し、必要に応じて10隊目の救急隊整備を検討していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 8日  
16時42分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001010000	総務予防室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01763	千二分団詰所移転整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	11881	01	09	01	02	01	01	02	千二分団詰所移転整備事業（非常備消防費）
所属長	笹野 光則				担当者（内線）小西 将也（7144）				
根拠法令等	吹田市消防団の組織に関する規則								
事業開始年度	平成29年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	消防団詰所		
目標	消防力の強化		
結果	消防団の機能強化が図られる。		
事業概要	千里山西側整備（土木部地域整備推進室所管）の実施に伴い、耐震性が確保されていない千二分団詰所を移転整備する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	5,078	3,978	47,552
人件費職員数(人)	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	0	0	13,130	12,030	55,497
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	13,130	12,030	55,497
地方債	0	0	0	0	47,500
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	13,130	12,030	7,997
財源計(C+D)	0	0	13,130	12,030	55,497

所属	総務予防室
事務事業番号	01763

## &lt;活動指標&gt;

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## &lt;成果指標&gt;

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

## (3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	千二分団詰所の移転整備。	目標	消防力の強化。
成果内容	建設工事のための実施設計の作成。	達成状況	当初の計画どおり、実施設計を作成した。

## &lt;総合評価&gt;

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	消防団の活動拠点施設である消防分団詰所の耐震化は必要な事である。また、事業費は資産経営室が試算した金額内で実施設計を作成しており、適切である。 進捗状況にあつては、実施計画策定当初のスケジュール通り今年度で実施設計が作成され、順調に進んでいる。 平成30年度で新分団詰所を整備し、事業を廃止する。

事務事業分析シート

2018/6/817.16

所属名	総務予防室	事業名	千二分団詰所移転整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01763				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		e. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	総務予防室	事務事業番号	01763
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>災害に備え、消防団の活動拠点施設である消防団詰所整備は必要である。実施計画策定当初のスケジュール通り進捗しており、平成30年度で新分団詰所を整備し、事業を廃止する。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--